

Annual Report 2005
医療法人社団 安藤眼科医院

<http://www.andoganka.com>

andoeye@yf7.so-net.ne.jp

安藤眼科医院：安藤 展代

〒258 - 0003

神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 995 - 1

0465 - 83 - 4545

安藤眼科医院小田原クリニック：安藤 一郎

〒250 - 0816

神奈川県小田原市成田 168

0465 - 38 - 0344

あけましておめでとうございます。

安藤 一郎

旧年中はたいへんお世話になりました。2006年を無事迎えることができますのも、旧年中いろいろのご指導、ご協力をいただいたおかげであり、スタッフ一同感謝しているところです。おかげさまで、添付の資料のとおり、多数の外来と手術を無事にこなすことができました。また、スタッフの顔ぶれもかなり変わり、小田原クリニックの外来も大きく模様替えしました。いろいろとニュースが盛りだくさんな1年間だったように思います。微力ながらいくつかの工夫と改良ができたと思いますので、そのご報告をさせていただきます。

まず一つ目として、カールツァイス 手術顕微鏡 'OPMI-VISU210' を購入しました。

この顕微鏡は、今までの顕微鏡と比較し格段によく見えるものでした。導入当初の感想は、「切開する音が聞こえてくるかと思えるほど」「迫ってくる画像が怖く感じるほど」だったと思います。手術は見えなくて始まらない。」この当たり前すぎることを改めて認識させられた機械だったと思います。さらに、この顕微鏡にはスリット照明がついていました。従来のシステムでは眼内の照明のために片方の手がふさがってしまい、その手は直接手術操作に参加できませんでした。あるいは、慣れている優秀な助手に眼内の照明器具の把持を任せることで、初めて両手を使った手術が可能となっていました。しかし、この第2の照明がスリット照明という形で顕微鏡についたことで、執刀医の両手とも照明以外の手術操作をすることができるようになり、このことが硝子体手術を大きく変えたと思います。執刀医自身が助手の手を煩わすことなく一人だけで、効率よく目的の場所を確認し、すべきことができるようになりましたし、増殖膜の処理を片手だけの処理から両手での処理に変えることもできました。そして、私どものように少人数の体制では、特に医師が一人で硝子体手術にとりかかれるようになったことで、残った医師が他の手術を平行にすすめられるようになり、時間的効率も格段に上げることができました。

硝子体手術に関連したことで、この顕微鏡に加えて 25G による硝子体手術を導入したことも昨年話題のひとつになると思います。眼内に挿入する手術器具の直径を、従来の 20G (直径約 0.9mm) から、25G (直径約 0.5mm) に小さくすることができました。このことで、手術に要した創口を自己閉鎖という形で手術を終わることができるようになり、縫合する必要がなくなりました。また、縫合しないため、その部分を覆っている結膜の剥離も必要がなくなりました。手術翌日に当然縫合糸が見えず、結膜に出血が目立たず、前日に手術をした目にはちょっとみただけではわからないこともあるほどです。これらの見た目だけでなく、縫合しないので手術時間が大幅に短縮されましたし、術後の視力の立ち上がりがいいという報告もあります。従来では煎刀やフルートニードルに持ち替えなければできなかった細かい操作を、25G の吸引が弱く安定していることで、すでに眼内に挿入している器具だけで処理できるようになりました。このことは、眼内への器具の出し入れが少なくなることで周辺の裂孔の形成など合併症が減る可能性が出てきたといえるかもしれません。この方法にはまだわかっていないことを含めているいろいろなメリットがあるようです。挿入する器具が細いことで、その「たわみ」のために多少の慣れが必要であったり 25G で使える周辺の器具が十分そろっているとはいえないなどの問題を抱えているものの、今日、糖尿病性網膜症や網膜静脈枝閉塞症に伴う黄斑浮腫に硝子体手術の適応が広がる状況で、選択される機会が増えてくるものと思われます。白内障手術の歴史がそうであったように、硝子体手術も小切開や自己閉鎖という波が来ているのだと思います。症例を選びながら無理をせず、よいものは取り入れていきたいと考えています。

2つめとして、Ar tisan Phakic IOL の導入があげられます。LASIK は非常にすばらしい屈折矯正方法のひとつとして知られていますが、レーザーで角膜を切除することで矯正するという方法のために、近視が非常に強く、それを完全矯正するには角膜の厚みが足りないという人には向いていないものでし

た。このような人たちこそ少しでも近視が少なくなればどんなに生活が便利になるかもしれないのに、実際にはそれに十分対応できなかったというのが現状でした。この Phakic IOL という方法は、特殊な眼内レンズを虹彩の前(後)に水晶体や角膜を温存したまま挿入するというもので、従来、LASIK の適応がないために眼鏡で生活せざるを得なかった人たちにとっては、期待されている方法のひとつになっています。これで、眼鏡(コンタクトレンズ)から手術までのおおよそほとんどすべての矯正方法をそろえたことになり、それらの情報の案内だけでなく、具体的な方法の実践まで、患者様に提供できる体制を整えることができました。最近、LASIK が今ひとつ伸び悩んでいる状況があるようです。ひとつには誇大な広告や、一部の施設によるまちがった期待をいだかせるような説明がなされていることが原因のように感じます。この方法はまだ始まったばかりで、術後の白内障や緑内障、水泡性角膜症などの可能性を含めて長期の安全性が確立されたものではありません。Phakic IOL という方法を、冷静に客観的に観察し、ありのままを上手に説明していくことが私たちに求められていると考えています。患者様にとって長期にわたり安全で、本当によいものであることを、手術を受けられた患者様と一緒に期待して、術後の観察を注意深く行っていくつもりです。

3 つめとして、日本アルコン 超音波白内障手術装置 'INFINITY' の購入があげられます。

この機械や、すでに私たちが持っている AMO ソブリンという機械などの登場により白内障手術はますます安全で安定したものになってきました。以前にバーンやサージの問題などが議論されていたことが夢のようにすっかり解決され、もはや「白内障手術に術者の技は関係ない?」と思わせるほどに装置は完成されてしまったかのようです。効率的な超音波の発振と安定した前房のおかげで、安全に手術を行うことができるようになり、手術時間も短縮されました。難症例といわれたものも、その範囲が狭くなってきたのではないのでしょうか。しかし、白内障の治療という点から考えると、まだまだ問題は山積されたままだと思われます。たとえば、調節、高次収差、色調、リフラクティブエラー、術後感染などさまざまな問題が残っています。「このへんでいい」というならばともかく、それどころか、患者様のニーズはますます高度なところを目指し、さらなる研究と成果をもとめられているのが現状です。さらにインフォームドコンセント、一人ひとりに合った術前から術後までのきめの細かいケアなど、求められるものはますます人的、時間的、経済的な負担を増やしていきます。一方、医療費の削減という問題を社会は抱えていて、診療報酬の改定のたびに医療機関は厳しい状況におこまれていきます。治療の質を落とさないまま、むしろさらに高度な先進医療を充実させながら、それにかかる費用を抑えていく、このむずかしい舵取りを私たちはしていかなければなりません。患者様の不利益にならないよう、しかし、無駄をできるだけ省くにはどうしたらいいか、今年も更なる努力を必要とされていきます。

今年、PDT(加齢黄斑変性症に対する光線力学療法)や、内視鏡を使った涙道、硝子体手術、私たちがあまり扱ってこなかった斜視などを中心に充実させていこうと考えています。また、予約状況の改善も急務で、なるべく予定された時刻に診療が始まり、終わるような予約システムを作っていかなければならないでしょう。術後の患者様の経過観察などは、地域の先生方とますます密に連絡を取り合いながら、患者様の便をはかっていくことも重要であると考えています。このようにたくさんのすべきことがある中、今年もまた、昨年同様に、杏林大学樋田教授、横浜市立大学門之園先生をはじめ、永田眼科黒田先生、東海大学河合教授以下応援していただいている先生方、麻酔科の古谷先生、加藤先生、近隣の先生方などたくさんの方々にお世話になることと思います。くすり箱様を始め、各メーカー様にはますますの協力もいただくことになってしまおうでしょう。今年も昨年同様に、暖かいご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2006年1月1日

2005年の思い出

学会 勉強会

1月28日～30日	日本眼科手術学会(大阪):安藤展代 安藤一郎 平井香織
2月12日～13日	第2回 ODAIBA BASIC CLINICAL OPHTHALMOLOGY SERIES(東京):安藤展代
2月17日～19日	角膜カンファランス(徳島):平井香織
2月19日	の会(横浜) toric IOL 発表:安藤展代 安藤一郎
2月25日	『点眼薬と疾病』勉強会 参点製薬 新留様
2月28日～3月7日	Artisan Phakic IOL ライセンス講習会(オランダ):安藤展代
3月4日～6日	日本糖尿病眼学会(名古屋):安藤一郎
3月24日～27日	日本眼科学会(京都):安藤展代 安藤一郎 平井香織
5月27日	の会(横浜):安藤展代 安藤一郎
5月29日	第7回眼科 PDT 講習会(東京):安藤一郎
6月17日～19日	日本眼内レンズ屈折手術学会(京都):安藤展代 安藤一郎 平井香織 toric IOL 発表
6月26日	硝子体手術ビデオセミナー(東京):安藤一郎
7月4日～6日	Oxford Ophthalmological Congress(イギリス):安藤一郎
8月4日～6日	CAOS の会:安藤展代 安藤一郎 井上拓己 加藤晃仁 南青山アイクリニック様(横浜) 神奈川クリニック様(東京) 大内眼科様・永田眼科様(兵庫)
9月4日～10日	East Asian Forum of Eye Health(モンゴル):安藤展代
10月7日～10日	日本臨床眼科学会(札幌):安藤展代 安藤一郎
10月12日～19日	AAO(シカゴ):平井香織
11月17日	硝子体手術ビデオセミナー(東京):安藤一郎
12月2日～4日	日本網膜硝子体学会(大阪):安藤一郎
12月10日	緑内障手術講習会(奈良):安藤展代

特別外来・手術

2月2日	硝子体外来・手術	杏林大学:樋田哲夫教授
4月7日	硝子体外来・手術	横浜市立大学:門之園一明先生
6月1日	硝子体外来・手術	杏林大学:樋田哲夫教授
7月28日	硝子体外来・手術	横浜市立大学:門之園一明先生
11月2日	硝子体外来・手術	杏林大学:樋田哲夫教授
11月22日	緑内障外来・手術	永田眼科:黒田真一郎先生
12月15日	硝子体外来・手術	横浜市立大学:門之園一明先生

医師会・眼科医会

1月8日	足柄上医師会 新年会 安藤展代
2月15日	三師会講演及び医療情報委員会 安藤展代 安藤一郎
3月16日	松田町眼科講話 (松田町町民文化センター) 安藤展代
3月17日	足柄上医師会定時総会 安藤展代
4月12日~6月29日	眼科学校検診 安藤展代 大井町 大井高校 安藤一郎 松田町 中井町 吉田島農林高校 平井香織 大井町
5月19日	足柄上医師会 足柄上病院懇親会 安藤展代
5月30日	福利厚生委員会：安藤展代 学術委員会：安藤一郎
5月31日	東海大学医学部付属病院 眼科病診連携世話人会：安藤展代
7月21日	学校医部会：安藤一郎
10月10日	小田原市休日急患診療所当番：平井香織
10月20日	大井町就学時検診：安藤展代
11月16日	大井高校眼科講話：安藤展代
11月27日	松田町就学時検診：安藤一郎

改装・修理

2月5日	松田通用口フェンス ボルト打ち直し工事
2月19日~3月5日	小田原クリニック コンタクトレンズ販売所新設 ハンフリー・ゴールドマン視野計設置場所変更工事
4月28日~5月5日	小田原クリニック外来大改装工事 永井空間設計・(株)ワコーコーポレーション
5月7日	松田本院 1階職員用ドア交換
9月14日	小田原クリニック 電気工事

新設器械

2月28日	カールツァイス 手術顕微鏡 'OPMI-VISU210' 購入
5月27日	ニデック スペースセービングチャート 'SSC-350' 2台
6月3日	ローデンストック 'スリットランプ 5変倍' 仕様変更
6月20日	25 ゲージシステム導入
9月1日	ビーライン 'HFA Files バージョンアップ'
9月16日	ホワイトメディカル カセットオートクレーブ 'STATIM5000' 1台
9月28日	カールツァイス 手術顕微鏡 'OPMI - VISU210 / S88' 仕様変更
10月7日	カールツァイス 'OCT バージョンアップ'
11月30日	日本アルコン 超音波白内障手術装置 'INFINITY' 購入

その他

3月13日	メニコン『メルスプラン』チラシ折込 30,000部
4月23日	スタッフ懇親会 『紅蓮餃子坊』にて
5月3日	タウンニュース小田原版 『フェイキック IOL』記事掲載
5月7日	タウンニュース足柄版・秦野版 『フェイキック IOL』記事掲載
5月14日	フェイキック IOL 説明会
7月7日~8月26日	千寿製薬(株)様 手術見学
7月16日	メニコン『メルスプラン』チラシ折込 30,000部
9月12日~22日	紅白饅頭配布：80歳以上の来院患者様に長寿お祝いのお饅頭を配布
12月17日	忘年会 小田原市板橋『千世倭樓』

2005年皆勤賞 無遅刻・無欠勤・無早退の方々です。拍手！

山口恵子 田部雅美 野崎友希 水戸那奈 内藤千英 北村幸子
金田浩子 甲斐智美

2005年に行われた手術

白内障手術	1959眼 (前年比 145%)
緑内障手術	44眼 (前年比 102%)
網膜硝子体手術	82眼 (前年比 114%)
外眼手術	183眼 (前年比 131%)
眼瞼下垂・内反	90眼
翼状片	40眼
霞粒腫	36眼
PTK	11眼
その他外眼	11眼
屈折矯正手術	144眼 (前年比 73%)
Phakic-IOL	3眼
LASIK	103眼
ENHANNCE	5眼
LRI	33眼

ひとみすっきり号（無料送迎車）の動き

平成 17 年 1 月 5 日～12 月 17 日までに『ひとみすっきり号』を利用した患者様
1695 人（延べ患者様数） 月平均 141 人

平成 15 年 9 月 15 日～平成 16 年 12 月 31 日までに『ひとみすっきり号』を利用した
患者様

1871 人（延べ患者様数） 月平均 117 人

主な送迎場所

- ・安藤眼科医院松田本院～安藤眼科医院小田原クリニック
 - ・足柄上郡松田町寄地区
 - ・足柄上郡山北町中川地区・清水地区
- ほか小田原市・松田町・山北町・大井町・開成町・中井町全域

入職者 がんばって下さい。

木戸朋美（検査・診察補助）	平成 17 年 4 月 4 日入職
柳下和美（看護師）	平成 17 年 5 月 9 日入職
瀬戸厚夫（ドライバー）	平成 17 年 10 月 3 日入職

研修中

木村智嘉（臨床検査技師）	平成 17 年 10 月 31 日入職
手塚 宏（ドライバー）	平成 17 年 11 月 28 日入職
府川文彦（ドライバー）	平成 17 年 12 月 12 日入職

退職者 ごくろう様でした。

山口 純さん 八木奈緒子さん 前場重治さん 秋山真一郎さん
藤間希恵さん 藤江理紗さん

また1年楽しい年でありますように

安藤 展代

2005年は楽しいことがたくさんあった。まず、5月には小田原クリニックの外来を改装した。9年前に開院したときは広々として、のんびりとした雰囲気の外來で気に入っていたが、だんだんと検査器械や人が増えて、隙間を次々に埋めて行った。そして雑然と、動線の入り乱れる状態になって行った。ついに今年の春がまんがでできなくなって、永井設計事務所の永井さん、ワコーコーポレーション加藤社長に相談、思い立ってから着工まで1ヶ月という無理な工程にもかかわらず、永井さん、加藤社長はもとより、職員も夜遅くまでがんばり、ついにゴールデンウィーク明けに新装開店!!となった。なんだかとても“お医者さんらしく”なってしまった。個人情報保護やプライバシーの尊重などが求められる時代にふさわしい改装ができてよかった。

何でも良いものをみると買いたくなってしまう私はずいぶん我慢したが、やはりOPMI-VISU210とインフィニティを買ってしまった。設備や道具が良いと、やはり手術もうまく行く。スリット照明付きの高性能の顕微鏡で、安藤一郎の硝子体手術は格段に進歩した。ソプリンでまったく不足は無かったのに、インフィニティを使わせていただいたらやはり欲しくてたまらなくなった。今、ソプリンとインフィニティを交互に使う幸せに浸りながら私は白内障手術を改めて楽しんでいる。

白内障手術といえば1年余り前から白内障手術件数がなぜか増えていることを感じていたが、2005年になってからだんだんと手術待ちの期間が延びてきた。幸いスタッフの数も力も充実して来ていたので、手術日を増やし、また1日あたりの手術件数を増やした。結果として今年は1961件、去年の145%もの白内障手術を行うことになった。どこから患者さんが来てくださるのだろう。年間に発生する白内障手術件数はその土地の老齢人口の3.5%と言われている。これをもとに計算してみたところ、足柄上郡の5町では予想症例数の88%が当院で手術を受けてくださっていることがわかった。この土地の方たちのほとんどが当院に期待してくださっているということがわかって、改めて責任を感じ、身の引き締まる思いがした。この方たちの期待に応えるためにも、自分の技術、知識を高め、施設や設備を良くし、職員の力、レベル、数の充実を図らなければならない。

今年もまた楽しい年でありますように、今までの皆様のご指導、ご協力に感謝し、今年もまたよろしくとお願い申し上げます。

2006年1月1日

スタッフ

常勤医：	安藤展代	安藤一郎	平井香織					
看護師：	井上拓己	原理恵子	北村幸子	金田浩子	伊東淳子	柳下和美	甲斐智美	
検査：	鈴木智子	田部雅美	高橋京子	近藤景子	内藤千英	千田元子	木戸朋美	
	高橋美香							
事務：	加藤晃仁	佐藤絵美	柿原 愛	川畑琴代	野地真弓	山口恵子	大塚寛子	
	上原 薫	野崎友希	角津知佳	工藤可奈	飯山百合子	小寺弥生	加藤明子	
	水戸那奈	青木理沙	小林里奈					
ドライバー：	瀬戸厚夫							
研修中：	木村智嘉	手塚 宏	府川文彦					